TOSHIBA
Leading Innovation >>>



東芝加湿器 温風気化／気化式（家庭用）

取扱説明書

形　名
KA-H80DX
KA-H60DX

保証書付
保証書はこの取扱説明書の 20 ページについておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは東芝加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

特長（知っておいてほしいこと）

蒸気や霧は見えません

気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す加湿方式のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。

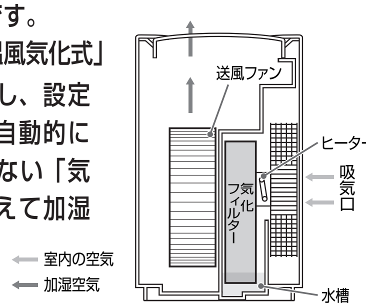
吹き出す風は暖かくないことがあります

温風気化時でも、気化フィルターで水が気化するときには熱が奪われるので、吹き出す風は暖かくないことがあります。

ハイブリッド式（温風気化／気化式）

この製品は、水を含ませた気化フィルターに風をあて加湿する「気化式」と温風をあてる「温風気化式」のハイブリッド式です。

加湿し始めは「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に達すると自動的にヒーターを使わない「気化式」に切り換えて加湿します。

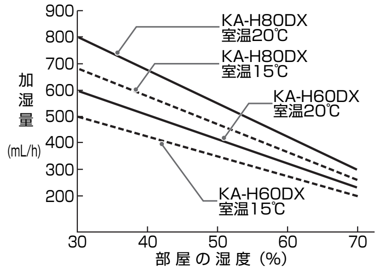


室内の湿度や温度の条件により加湿量が変わります

雨の日などの湿度が高いときや、室内の温度が低いときは、水が気化しにくいため加湿量が少なくなります。（タンクの水の減り方が遅くなります）
また、室内の湿度が低いときは加湿量が多くなります。（タンクの水の減り方が速くなり、連続加湿時間が短くなります）

部屋の湿度と加湿量

室温 20 ℃、湿度 30％、「連続」運転時タンク満水で KA-H80DX で約 5 時間、KA-H60DX で約 6 時間 40 分運転できます。



きれいな空気と水で加湿

- **エアフィルター（プラチナフィルター）**
  プラチナ抗菌※1 加工を施し、エアフィルターに付着した菌の繁殖を抑制します。
- **気化フィルター（抗菌ロータリー気化フィルター）**
  抗菌※2 加工を施し、気化フィルターに付着した菌の繁殖を抑え、ロータリー方式にすることによって、約４シーズン使用することができます。
- **タンク（抗菌タンク）**
  抗菌※3 加工を施し、タンク内の菌の繁殖を抑制します。
- **タンクキャップ（抗菌タンクキャップ）**
  抗菌※4 加工を施し、タンクキャップの菌の繁殖を抑制します。
- **抗菌ガラス※5**
  トレイ内の菌の繁殖を抑制します。

ピコデ運転について

ピコデユニットの電極ピンに高電圧をかけることにより、電極ピン先端に集まった水を微細化させ、空気中に放出し、除菌※6・脱臭・アレル物質の抑制を行います。
KA-H80DX では、ピコデユニットの電極ピンにプラチナ加工を施し、除菌効果を高めています。

	※１	※２	※３	※４	※５	※６	
						KA-H80DX	KA-H60DX
試験機関	（財）日本紡績検査協会	（財）日本紡績検査協会	（財）新潟県環境衛生研究所	（財）新潟県環境衛生研究所	（財）新潟県環境衛生研究所	京都薬科大学薬剤学教室	（社）浜松市薬剤師会浜松環境衛生研究所
試験方法	JIS L 1902 に準拠	JIS Z 2801 に準拠	JIS Z 2801 に準拠	JIS Z 2801 に準拠	JIS Z 2801 に準拠	標準寒天培地表面塗抹法	
抗菌・除菌の方法	エアフィルターに抗菌加工	気化フィルターに抗菌加工	タンクに抗菌加工	タンクキャップに抗菌加工	抗菌ガラスに抗菌加工	水を微細化させ空気中に放出	
抗菌・除菌を行っている対象部分の名称	エアフィルター	気化フィルター	タンク	タンクキャップ	抗菌ガラス	ピコデユニット	
試験結果（試験番号）	抗菌効果 99.9%（003856-1、003856-2）	抗菌効果 99.9%（027414-1、027414-2）	抗菌効果 99.0%（第200802527-001-MBA号）	抗菌効果 99.9%（第200802968-001-MBA号）	抗菌効果 99.0%（環研 K 第 857 号）	抗菌効果 99.9%（第 80715 号）	抗菌効果 99.9%（第 6056 号）

安全上のご注意 必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告 「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1 を負うことが想定されること」を示します。

⚠注意 「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害＊2 を負うことが想定されるか、または物的損害＊3 の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁止：⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指示：●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注意：△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

分解禁止
分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
高電圧発生装置を内蔵しています。修理はお買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。

水ぬれ禁止
水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

交流 100V のコンセントを単独で使う
電源は交流 100V で定格 15A 以上のコンセントを単独で使う
交流 100V 以外で使ったり、コンセントを他器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

禁止
運転停止直後（約 10 分間）はヒーター周辺に手を触れない
運転時、内部ヒーターが加熱されていますので、やけどやけがの原因になります。

無理な扱い禁止
電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。

時々清掃する
同じ場所で長期間ご使用の場合は、製品下部や床を時々清掃する
水がこぼれたまま放置した場合、床を腐食する原因になります。

禁止
不安定な場所には置かない
転倒すると水がこぼれます。

禁止
吹出口・吸気口やすき間にピンや針金など、異物を入れない
感電や異常動作してけがをすることがあります。

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

異常時（水もれ、コゲくさい臭いなど）は運転を停止して電源プラグを抜く
プラグを抜く
異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。

**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
プラグを抜く
感電やけがをすることがあります。

本体のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使わない
禁止
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

使用中や使用直後（運転停止後約10分間）は、お手入れをしない
禁止
高温部に触れ、やけどの原因になります。

幼児の手の届くところで使わない
禁止
やけどの原因となります。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る
ほこりを取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
根元まで差し込む
感電・ショート・発火の原因になります。

トレイ内の水を飲まない、飲ませない
禁止
体調不良の原因になります。

トレイ内の水を排水するときは、本体から直接排水せず、タンクを取り出してからトレイをはずし、気化フィルターをはずして、トレイを傾け排水する
トレイを傾け排水する
本体から直接排水した場合、本体内部に水が回り込んで、感電・ショート・発火の原因になります。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
プラグを持って抜く
電源コードが破損し、感電やショートして発火することがあります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
プラグを抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

加湿された風が家具・壁・カーテンなどに直接あたるところには置かない
禁止
しみが付いたり、変形することがあります。

移動するときは運転を止め、タンク・トレイの水を抜いてから、ハンドルを持って、傾けないようにしてゆっくり運ぶ
ゆっくり運ぶ
水がこぼれて床をぬらす原因になります。
傾けたりゆすったりしないでください。

吸気グリル、エアフィルター、ピコデユニットなどをはずしたまま運転しない
禁止
感電やけがの原因になります。

⚠ 注意

本体内部には直接水を入れない
禁止
ショート・感電の原因になります。

水もれしたときは、使用しない
禁止
感電の原因になります。

吹出口や吸気口をふさがない
禁止
吹出口や吸気口をふさぐと変形や故障の原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品の上や、熱に弱いテーブルなどの上で使わない
禁止
転倒すると感電・ショートの原因になります。また、本体底部の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。

タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部を常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
お手入れをする
お手入れをせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康によくないことがあります。この場合は医師に相談してください。

お願い

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結すると故障の原因になります。

水道水（飲用）以外は使わない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れると、変形や故障の原因になります。

直射日光の当たるところや暖房機の近くに置かない
- タンク内の空気が膨張し、水があふれることがあります。
- プラスチック部分が変形、変質することがあります。

タンクハンドルを持ってタンクを振りまわさない
タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

湿度の高いところ（85%以上）では使わない
- 加湿のしすぎは、室内の結露やカビが生える原因になります。
- 故障の原因になります。

温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用しない
- 直射日光やエアコン・暖房機の温風が当たるところ
- 窓際など外気の影響を受けやすいところ
- 室内の温度が0～35℃でないところ

タンクを落下させたり衝撃を加えたりしない
タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなどの磁気の多いところに置かない
正常に動作しないことがあります。

使わないときはタンクとトレイの水を捨てる
水を入れたまま放置するとカビや雑菌が繁殖しやすくなります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜いてください
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お手入れはこまめに行う
お手入れをせずに使い続けると、本体内部に水あかなどが付着してとれにくくなります。

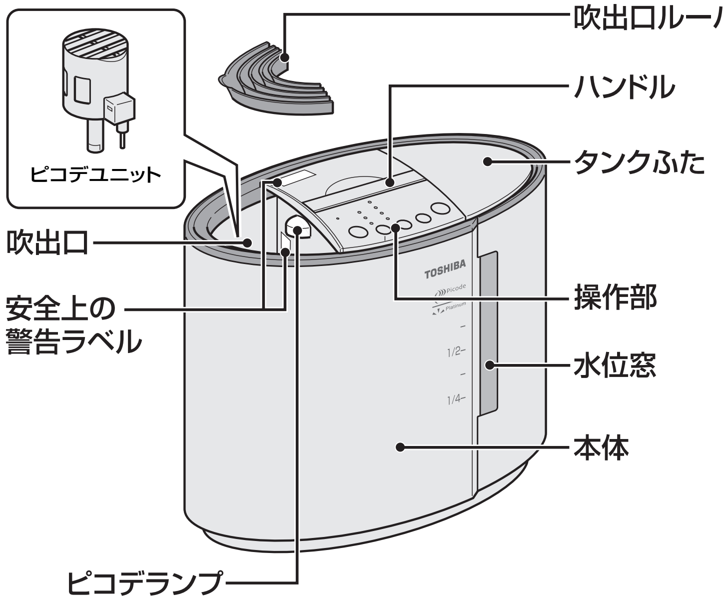
ハンドルで指をはさまない
ハンドルを下げるとき本体との間に指をはさまないように注意してください。

室内の湿度ムラをなくす
床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。
サーキュレーター・エアコンなどを使って、室内の空気を循環させてください。

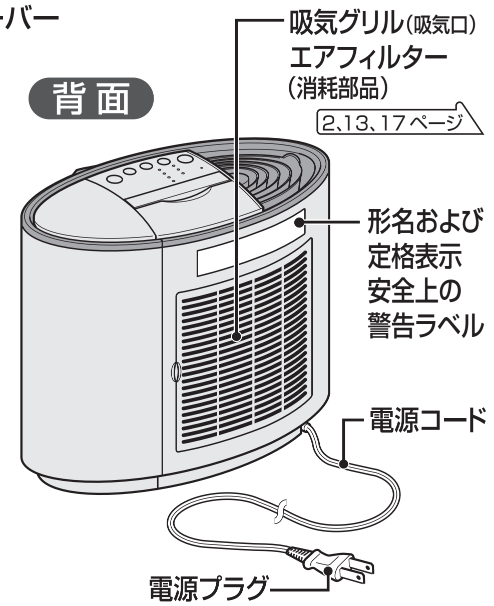
各部のなまえとはたらき

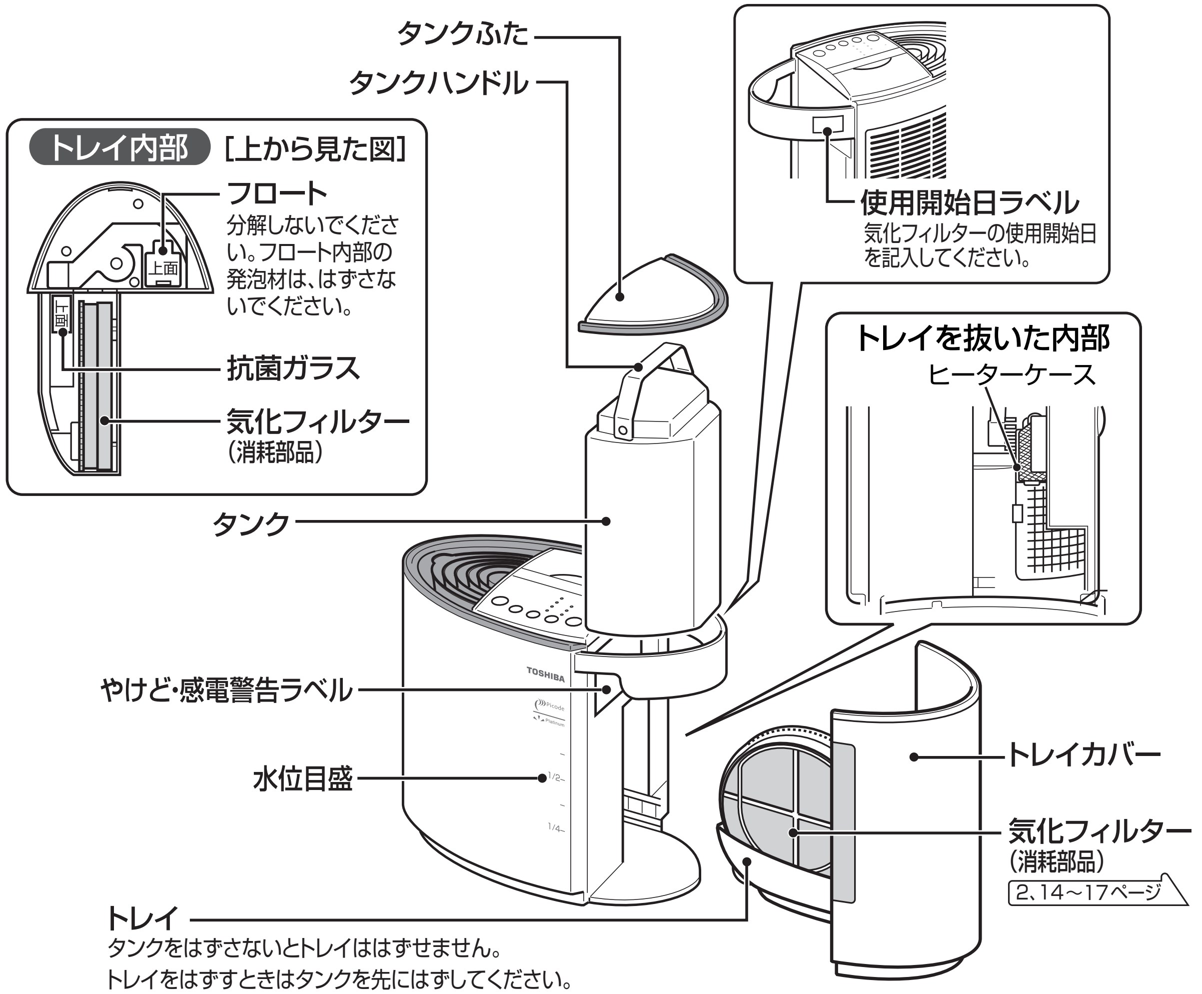
※ KA-H80DX のイラストで説明しています。

正面

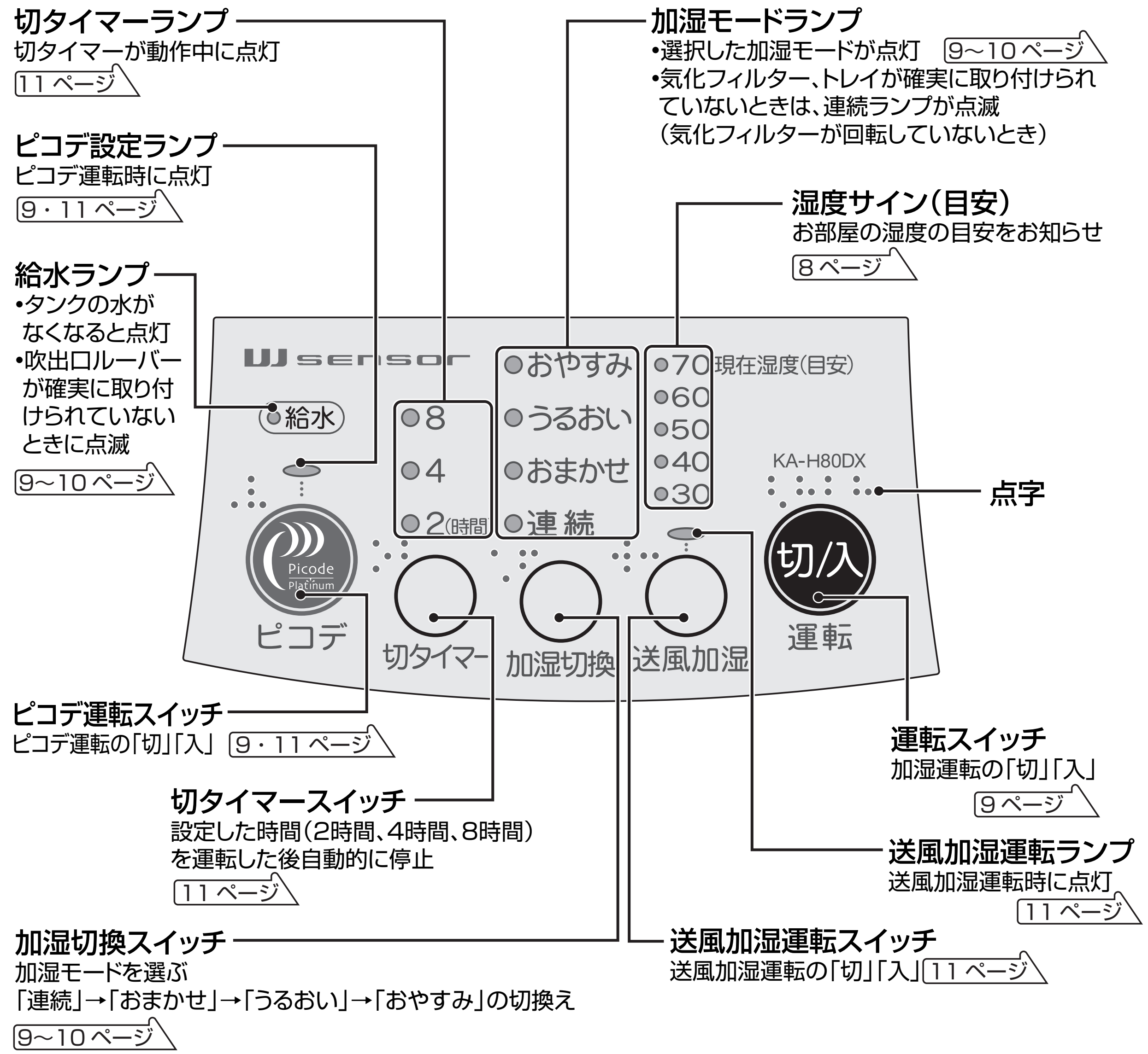


背面





操作部



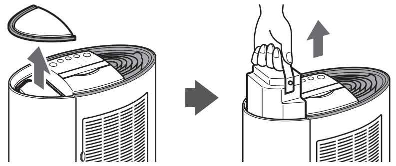
● 各スイッチの近くに点字が付いています。

スイッチ名称	ピコデ	切タイマー	加湿切換	送風加湿	運転
点　字	⠠⠧	⠕⠃	⠡⠋	⠺⠒	⠣⠓⠃⠓
読みかた	ピ	タイ	カエ	ソー	キリイリ

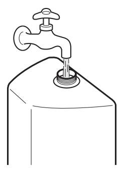
使いかた

本体の準備

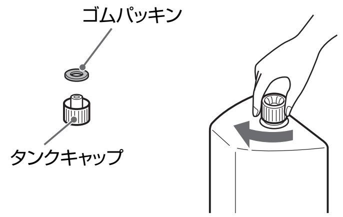
タンクに水を入れる



1. タンクふたをはずし、タンクハンドルを持って
タンクを取り出す。
2. タンクを逆さまにして、タンクキャップをはずし、
口元まで水道水を入れる。



3. ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝についていることを確認する。
タンクキャップをしっかりしめる。
   - 水もれがないか確認してください。
   - タンクについた水はふき取ってください。



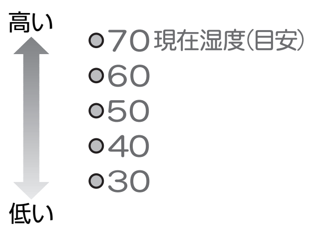
4. タンクを本体にセットし、タンクふたを取り付ける。
   - 吹出口ルーバー、トレイが本体にきちんとはまっていることを確認してください。10 ページ

お願い

- お湯（40℃以上）や汚れた水・化学薬品・芳香剤・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れないでください。
- 本体には直接水を入れないでください。
- 室温の低い部屋から高い部屋に加湿器を移動させたとき、また温度の低い水を利用したときにタンクの表面が結露する場合があります。このような場合はふき取ってください。
- タンクを落下させたり、衝撃を加えたりしないでください。タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

湿度サイン（目安）の表示

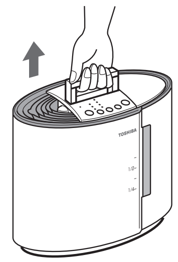
ランプの点灯でお部屋の湿度（目安）を表示します。



- 湿度サイン表示は目安です。
同じ室内でも場所により湿度が異なるためお部屋の湿度計と差が出ることがあります。
- 加湿運転中以外は表示しません。
- 使いはじめは本体内部の結露などで高い湿度表示になることがあります。
（30 分以上運転すると徐々に室内湿度に近づいてきます）

持ち運ぶときは

タンク、トレイの水を抜いてから、ハンドルを持って、傾けないようにゆっくり運んでください。



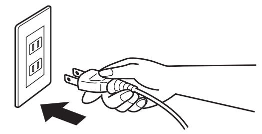
水を抜かずに持ち運ぶと傾いたとき、水がこぼれることがあります。

お願い

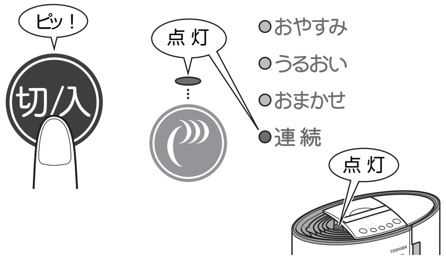
水平な安定した場所に置いてお使いください。本体が転倒すると「ピー、ピー、ピー…」というブザーがなり、湿度サインが点滅して運転が止まります。電源プラグを抜いてから、本体をおこしてこぼれた水をふき、本体が乾いてから使用してください。

加湿運転のしかた

1 電源プラグをコンセント（交流 100V）に確実に差し込む



2 切/入 を押す

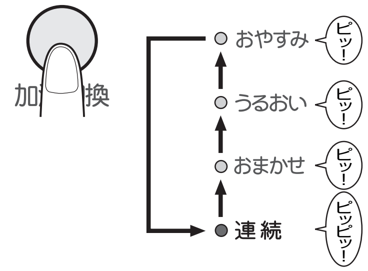


▶ 加湿モードランプの連続ランプ、ピコデランプ、ピコデ設定ランプが点灯し、「連続」運転を開始します。

- 運転スイッチを押すと、加湿（連続）と同時にピコデ運転も開始します。

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、給水ランプが点滅したときは、10 ページの「エラー検知について」をご覧ください。

加湿モードを「連続」以外にするときは

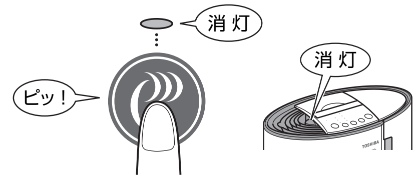


加湿切換 を押す

▶ 選んだランプが点灯し、加湿を開始します。

ピコデ運転を止めるときは

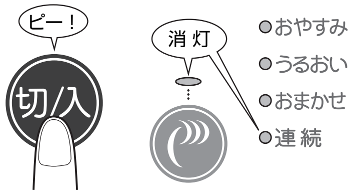
を押す



▶ ピコデランプ、ピコデ設定ランプが消灯し
ピコデ運転を停止します。

3 運転を止めるときは

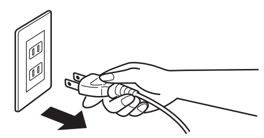
切/入 を押し「切」にする



▶ 設定した加湿モードランプが消灯し、ピコデ運転している場合は、ピコデランプ、ピコデ設定ランプが消灯します。

- 約 60 秒間送風後停止します。

4 電源プラグを抜く



お願い
- 運転を停止してから 60 秒以上たってから電源プラグを抜いてください。

タンクに水がなくなると

自動的に運転を停止し、給水ランプの点灯と「ピー、ピー、・・・」と 5 回のブザー音でお知らせします。



続けて使うとき

タンクに水を入れて本体にセットしてください。給水ランプが消灯し、自動的に再運転します。

お知らせ
- タンク満水で KA-H80DX で※約 5 時間、KA-H60DX で※約 6 時間 40 分、運転できます。（「連続」運転、室温 20℃、湿度 30%時）
※ 室内の温度、湿度により時間は変わります。

（つづく）

使いかた（つづき）

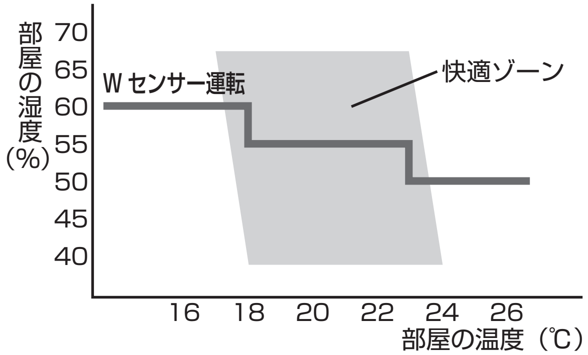
加湿切換について

● **お部屋が乾燥していると感じたときは、「連続」に切り換えてください。**
お部屋の湿度に関係なく連続して加湿します。

● **のどやお肌の乾燥が気になるときは、「うるおい」に切り換えてください。**
少し高めの湿度（約 65%）で湿度コントロールします。

● **おやすみのときなど、静かに運転したいときは、「おやすみ」に切り換えてください。**
お部屋の湿度に関係なく弱風で静かに運転します。（加湿量は少なくなります）

● **快適な湿度を保ちたいときは、「おまかせ」に切り換えてください。**
湿度と温度の W センサーがお部屋を快適な湿度に保ちます。



お知らせ

- 適用床面積以内でもお部屋の壁、床の材質、換気の度合、外気の乾燥の程度によっては、設定した加湿モードの湿度に維持できない場合がありますが異常ではありません。
- 同じお部屋でも空気の流れが良いところと悪いところでは湿度が異なることがありますので、お部屋の湿度計と本製品の湿度コントロールが異なる場合があります。
- 「おまかせ」「うるおい」運転の場合、お部屋の湿度に関係なく、運転開始から 3 分間は強風で加湿し、その後、自動湿度コントロールを行います。なお、運転開始から 3 分未満であっても、加湿モードを切り換えた場合は、すぐに自動コントロールを行います。
- 風量も強、弱、2 段の自動調節を行います。
- 給水ランプが点灯または点滅しているときは運転スイッチ以外の操作は受け付けません。給水してから操作してください。
- 運転スイッチを「切」にしたあと電源プラグを抜かずに「入」にするとメモリー機能により、「切」にする前の加湿モードになります。（ただし、切タイマー、送風加湿運転は記憶されません）
- 運転中、停電したときや運転スイッチを「切」にしたあと、電源プラグを差し直したときに「入」にすると「連続」運転になります。

エラー検知について

下記のようなときは、運転できません。（運転中は運転を停止します）

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、給水ランプが点滅しているとき

- 吹出口ルーバーが確実に取り付けられていません。
  吹出口ルーバーを確実に取り付けてください。



「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、加湿モードランプの連続ランプが点滅しているとき

- 気化フィルター、あるいはトレイが確実に取り付けられていません。
  気化フィルター、トレイを確実に取り付けてください。



送風加湿運転のしかた

送風加湿運転は、ヒーターを使った「温風気化式」による加湿をせず、気化フィルターに風をあて加湿する「気化式」のみの運転になります。電気代をおさえて、加湿したいときに使います。

運転中に（送風加湿）を押す



▶ 加湿モードランプが消灯、送風加湿運転ランプが点灯し、送風加湿運転に切り換わります。

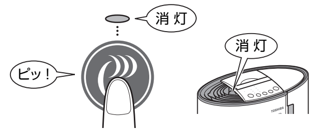
- 強、弱、2 段の風量を自動調節し、湿度が約 55%になると弱風量で加湿します。
- 送風加湿運転を止めて運転を停止する場合は、運転スイッチを押してください。
  他の加湿モードで運転したい場合は、加湿切換スイッチを押してください。
  （送風加湿運転をする前の加湿モードになります）
- 送風加湿運転は、メモリーされません。運転停止後、電源プラグを抜かずに「入」にした場合、送風加湿運転を解除し、送風加湿運転をする前の加湿モードになります。

形名	KA-H80DX		KA-H60DX	
運転	送風加湿運転	「連続」運転	送風加湿運転	「連続」運転
消費電力（W）	30	390	30	275
加湿量（mL/h）	約 480	約 800	約 390	約 600

ピコデ運転について

加湿運転中、ピコデ運転を停止するとき

（ピコデ）を押す

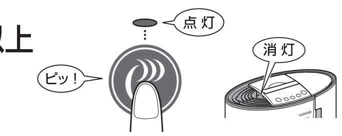


▶ ピコデランプとピコデ設定ランプが消灯します。

- 再び運転したいときは、もう一度ピコデ運転スイッチを押してください。
- 運転スイッチを「切」にし、再び「入」にした場合は、ピコデ運転を開始します。

おやすみ時などに、ピコデランプだけ消灯しピコデ運転を続けるとき

（ピコデ）を 3 秒以上押す



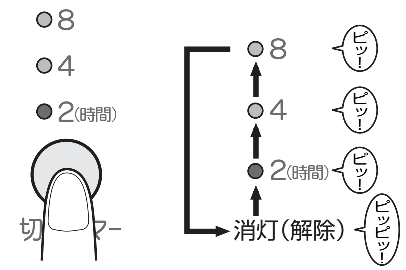
▶ ピコデランプが消灯します。

- 再び点灯したいときは、もう一度ピコデ運転スイッチを 3 秒以上押し続けてください。

切タイマー運転のしかた

設定した時間を運転したあと自動的に停止します

（切タイマー）を押し、タイマー時間を設定する（2 時間、4 時間、8 時間の設定ができます）



- 押すたびに切タイマーランプが右図の順序で点灯します。
- 時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間を示します。

設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します。

お願い

- タイマー時間を変えたいときは切タイマースイッチを押してお望みの時間に合わせてください。新たに合わせた時間からタイマーが動作します。
- 切タイマー運転をする場合、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、運転を停止して給水ランプが点灯します。
  給水ランプ点灯中でもタイマー動作が継続しているため、タンクに水を入れ、本体にセットすることにより、加湿運転を再開し、設定時間が経過すると自動的に運転を停止します。
- 給水ランプが点灯しているときはタイマーを設定できません。給水してから設定してください。
- 切タイマー運転で 8 時間の設定をするときは、「おまかせ」運転、または「おやすみ」運転で加湿運転してください。
  「連続」運転、「うるおい」運転ではタイマーが切れる前に水がなくなることがあり、給水ランプが点灯し運転を停止します。

お手入れのしかた

⚠警告

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く　また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
  プラグを抜く
  感電やけがをすることがあります。
- 本体のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使わない
  禁止
  洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。
- 使用中や使用直後（運転停止後約10分間）は、お手入れをしない
  禁止
  高温部に触れ、やけどの原因になります。

●使用を続けるとトレイ内部や、気化フィルター、ピコデユニット表面に白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります。

●お手入れのしかたにしたがいお手入れをして、いつも清潔にお使いください。

手順

準　備	→	各部のお手入れ	→	部品をもとどおりに取り付ける
1. 電源プラグを抜く。 2. 本体内の部品を取り出す。		●説明にしたがって各部のお手入れをする。		

本 体（汚れたら）

やわらかい布を水にひたしてかたくしぼり、汚れをふき取ったあと、からぶきする。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふき取ります。水でしぼった布で洗剤が残らないよう十分ふき取ってください。



お願い

- ●中性洗剤溶液は、洗剤容器に表示してある分量で水にうすめてください。
- ●変質・変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ性洗剤・クレンザーなどは使用しないでください。
- ●化学ぞうきんを使うときはその注意書に従ってください。

タンク内（2 週間に 1 回程度）

1. タンクに残っている水を捨てる。
2. タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップをしめて、よく振り洗いし排水する。これを 2 ～ 3 回くり返す。

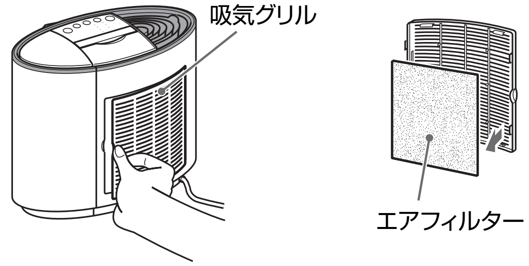


お願い

- ●変質・変色・傷防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ性洗剤・クレンザー・たわしなどは使用しないでください。
- ●化学ぞうきんを使うときはその注意書に従ってください。

エアフィルター（1 週間に 1 回程度）

1 吸気グリルをはずし、エアフィルターを取り出す



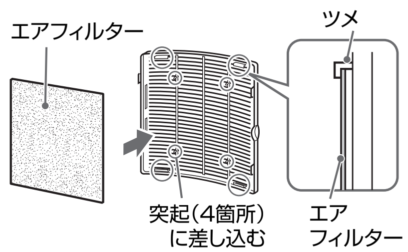
2 エアフィルターのほこりを取る

●かるくたたいてほこりを取ります。

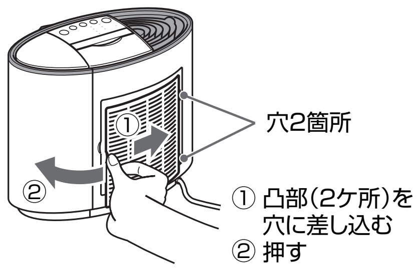
お願い

●水洗いしないでください。エアフィルターの効果が低下します。

3 エアフィルターを吸気グリルに取り付ける



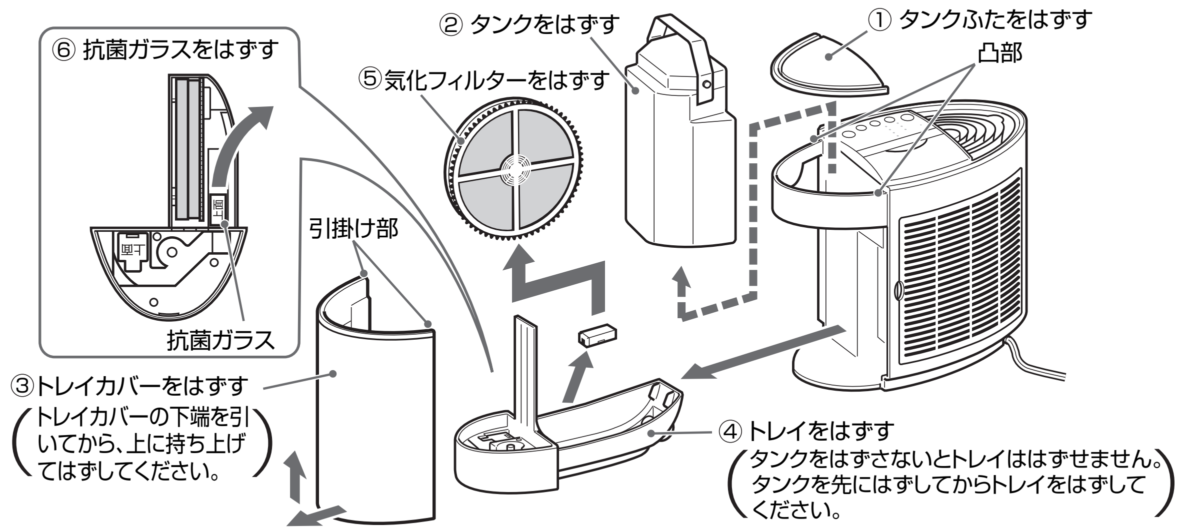
4 吸気グリルを本体に取り付ける



（つづく）

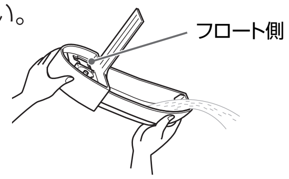
トレイ（2 週間に 1 回程度）

1 タンクふた、タンク、トレイカバー、トレイ、気化フィルター、抗菌ガラスをはずす



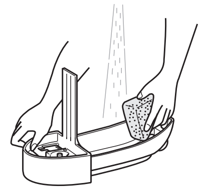
2 トレイ内の水を排水する

- 図のように傾けて排水してください。



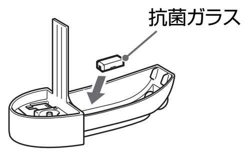
3 水あか、汚れを水にひたしたやわらかい布でふき取る

- 角などは歯ブラシで落とします。



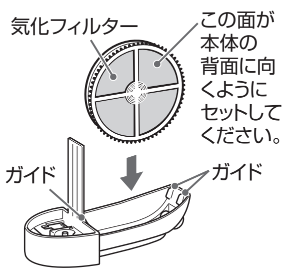
4 抗菌ガラスをセットする

- ゴミなどを洗い流し必ずセットしてください。



5 トレイにお手入れをした気化フィルターを取り付ける

- トレイにあるガイドにそって気化フィルターをはめます。
- 気化フィルターの向きに注意してください。



6 本体にトレイを確実に取り付ける

- 取り付けが不完全ですと給水ランプが点灯します。
- 気化フィルターの向きが合っていないと本体にトレイを確実に取り付けられません。

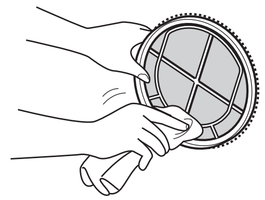
7 トレイカバー、タンクをセットし、タンクふたを取り付ける

- トレイカバーは、引掛け部を本体の凸部に入れてから、下側を押し込んでセットしてください。

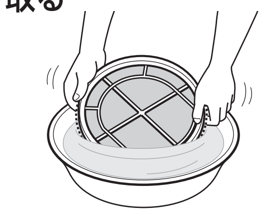
気化フィルター（2 週間に 1 回程度）

- 抗菌加工され、菌の繁殖を抑制しますが、全ての菌を抑制するわけではありません。
- 抗菌加工していても、汚れがつくと抗菌効果が落ちてしまいます。抗菌効果が長持ちするように 2 週間に 1 回程度のお手入れをおすすめします。
- 使用を続けるとトレイ内部や、気化フィルター表面に白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります。
- 使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります。このような場合は早めにお手入れしてください。

1 水またはぬるま湯をひたしたやわらかい布で気化フィルターの水あか、汚れをふき取る



2 水またはぬるま湯の中でふり洗いし、汚れや水あかを落とす
ふり洗いで落ちない場合はやわらかい布でふき取る



汚れが落ちにくいとき
クエン酸洗浄

1 ぬるま湯（約 40℃）2L にクエン酸を小さじ 4 杯（約 20g）程度溶かす
（1L 当たり 10g 程度の割合の濃度です。濃度が高いと部品破損の原因になります）

2 クエン酸を溶かしたお湯に気化フィルター全体を約 1 時間浸ける
（お湯の温度は徐々に下がりますが、お湯は加えないでください）

3 別に用意した新しい水またはぬるま湯の中で、ふり洗いをして残った汚れや染み込んだクエン酸をよく落とす
ふり洗いで落ちない場合はやわらかい布でふき取る

4 水を入れ替えて「3」を 2 ～ 3 回繰り返す
（クエン酸の成分が残るとニオイの発生や故障の原因になります）

5 水分をふき取り、十分乾燥させてから本体にセットする

お願い

- クエン酸の臭いが発生するため、換気扇に近いところで、換気をしながら行ってください。
- クエン酸は薬局で市販されていますが、入手できない場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
（部品名：ポット洗浄クエン酸 / 部品コード：32389024）
- クエン酸は食品添加物につき食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

気化フィルター（交換時期）

気化フィルターは消耗部品です。約４シーズン（約 20 カ月）を目安に交換してください。
- １日７時間 30 分運転の場合、気化フィルターの交換は、約 20 カ月に１回程度です。
- １日 10 時間運転の場合は、約 15 カ月に１回程度です。

ただし、地域の水質により極端に変化します。

次のような場合には、目安に関係なく交換してください。

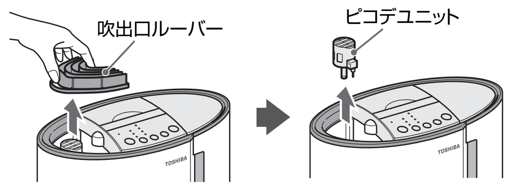
- お手入れしてもニオイや水あかが取れない。
- お手入れしても運転時、タンクの水の減りが少ない。
- いたみや形くずれがひどい。

お願い
- 気化フィルターを破棄するときは、お住まいの地域のごみ分別方法に従ってください。
（気化フィルターの材質：ポリエステル＋レーヨン、枠の材質：ポリスチレン＋ポリアセタール）

ピコデユニット（2 週間に 1 回程度）

- 使用を続けるとピコデユニットに白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、ピコデユニットの性能が低下します。
- 使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります。
このような場合は、早めにお手入れしてください。

1 **吹出口ルーバーをはずして、本体からピコデユニットを取り出す**
- 吹出口ルーバーは、まっすぐ上に持ち上げてはずしてください。



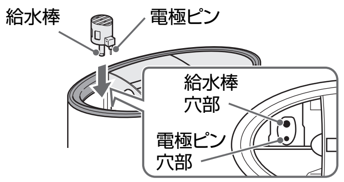
2 **浸け置き洗いする**
- ピコデユニットを水に浸けます。
（半日程度：８時間以上）



- 水で洗い流します。



3 **やわらかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてから、本体に取り付ける**



お願い
- 熱湯で洗わないでください。
- 洗剤は使用しないでください。
- ブラシやとがったものでピコデユニットをこすらないでください。
故障の原因になります。
- 保管するときは、水分を十分にふき取ってください。
カビ発生の原因になります。

汚れが取れないときは
15 ページを参照してクエン酸洗浄を行ってください。

保管のしかた

1 **お手入れのあと、本体の水をふき取り日かげで乾かす**

2 **気化フィルター、ピコデユニットの水をよくきり日かげで乾かす**

メモ 湿ったまま保管するとカビの原因になります。

3 **包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ないところに保管する**

仕 様

形　　名	KA-H80DX	KA-H60DX
電　　源	交流 100V　50-60Hz 共用	
消費電力　※１	390W	275W
加湿量（室温 20℃ / 湿度 30%）※２	約 800mL/h	約 600mL/h
タンク容量	約 4L	
連続加湿時間（目安）（室温 20℃ / 湿度 30%）※３	約５時間	約６時間 40 分
適用床面積（目安）　※４	木造和室～ 13.5 畳（～ 22m²） プレハブ洋室～ 22 畳（～ 37m²）	木造和室～ 10 畳（～ 17m²） プレハブ洋室～ 17 畳（～ 27m²）
外形寸法	幅約 402mm ×奥行約 212mm ×高さ約 367mm（突起含む）	
質　　量	約 5.4kg	
電源コードの長さ	約 1.4m	
付　属　品	エアフィルター、気化フィルター、ピコデユニット	

※１、※２、※３ 加湿モード「連続」の場合です。
※３ タンク満水の場合です。
※４ 日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいています。
※２ 室内の温度・湿度によって加湿量が変わります。
・温度が高い、または湿度が低いほど加湿量が多くなる。
・温度が低い、または湿度が高いほど加湿量が少なくなる。
- 運転停止状態の消費電力は約 1W です。
- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では、使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

消耗部品（お買い上げの販売店でお買い求めください）

形　名	東芝加湿器用気化フィルター
KA-H80DX	KAF-10
KA-H60DX	KAF-9

- 気化フィルターは消耗部品です。約４シーズン（地域の水質により極端に変化します）を目安に交換してください。

	エアフィルター（東芝テクノネットワーク（株）扱い部品）
部品コード	46442630

- エアフィルターは消耗部品です。約１シーズン（約５ヶ月）を目安に交換してください。

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	原　因	参照ページ
蒸気（霧）が出ない・見えない	この製品は気化フィルターに風をあてて湿った空気を送りだす方式のため、蒸気や霧は見えません。	2

故障かな？と思ったとき（つづき）

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	9
	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水してください。	8
	給水ランプが点滅していませんか。	吹出口ルーバーが確実に取り付けられていることを確認してください。	10
	加湿モードランプの連続ランプが点滅していませんか。	気化フィルター、トレイが確実に取り付けられていることを確認してください。	10 14
運転スイッチを「切」にしたのにすぐ止まらない	—	運転スイッチを「切」にしても送風ファンは運転を続けます。 約 60 秒間送風後自動的に止まります。	9
加湿モードランプの「うるおい」か「おまかせ」または、送風加湿運転ランプが点灯しているのに加湿が弱い（風が弱い）	—	お部屋の湿度が設定した加湿モードの湿度以上になっているため、弱風運転をしています。さらに加湿したい場合は「連続」運転を選択してください。	10 11
風の出が少ない	おやすみ運転をしていませんか。	おやすみ運転の場合、送風ファンの回転をおさえますので風の出が少なくなります。	9 10
	吸気グリルのエアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。	エアフィルターのお手入れをしてください。	13
	気化フィルターに水あかやごみが付着していませんか。	気化フィルターのお手入れをしてください。	15 16
• 加湿切換ができない • 切タイマー運転ができない	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水し、給水ランプが消灯してから設定してください。	8~11
タンクに水があるのに給水ランプが点灯する	トレイが確実に本体に入っていますか。	トレイを確実に本体に入れてください。	14
	フロートが起き上がっていませんか。	フロートの向きを「上面」の文字が上にくるように直してください。	6
	本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置いてください。	8
	トレイに直接水を入れたり、タンク、トレイに水を入れたまま持ち運んだりしていませんか。	タンクをはずし、一度トレイ内の水を排水し、再度タンクをセットして給水してください。	8 14
湿度が上がらない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	17
	窓、戸を開けていませんか。	窓、戸を閉めてお使いください。	—
ニオイが出る	気化フィルター、エアフィルター、トレイが汚れていませんか。（お部屋やタバコのニオイが気化フィルターに付着してニオイが出ることがあります）	気化フィルター、エアフィルター、トレイのお手入れをしてください。	13~16
湿度サインの表示がお部屋の湿度計の表示と違う	—	同じお部屋でも空気の流れや、温度差などにより湿度が異なることがあります。湿度サインは目安としてお使いください。	8
タンクの表面が結露する	—	コップに冷たい水を入れると表面が結露するのと同じ現象です。結露した場合は布などでふき取ってください。	8
気化フィルターがトレイにセットしにくい	気化フィルターの取り付け方向がまちがっていませんか。	気化フィルターの向きを合わせて、トレイのガイドにそってセットしてください。	14
本体にトレイを入れるときや引き出すときに水がこぼれる	トレイに気化フィルターが取り付けられていますか。	トレイに気化フィルターを取り付けてください。	14
トレイの水に色が着く	—	トレイの水に茶色い色が着く場合があります。これは気化フィルターの添加剤によるもので、異常ではありません。そのままご使用になれます。	—

上記に従って調べていただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※ 樹脂部品は数年間ご使用いただきますと、傷んでいることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は　お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41　受付時間：365日 **24時間**
携帯電話からのご利用は ナビダイヤル 0570-06-4114（通話料：有料）
PHSなどからのご利用は 0173-38-3168（通話料：有料）

お買い物・お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86　受付時間：365日 **9:00~20:00**
携帯電話・PHSなどからのご利用は 03-3426-1048（通話料：有料）
FAXでのご利用は 03-3425-2101（通信料：有料）

- 「東芝家電修理ご相談センター」は、東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の 20 ページに記載されております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。** ただし、エアフィルター、気化フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

- 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後 5 年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

- 17 ～ 18 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転スイッチを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）

愛情点検

長年ご使用の加湿器の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか。
電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

- 水もれする。
- 本体が異常に熱い。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝加湿器保証書

持込修理

形名	KA-H80DX、KA-H60DX		
★お客様 お名前	ふりがな 様		
★お客様 ご住所	〒□□□-□□□□		
★お客様 電話	市外	市内	番号 呼
保証期間 本体	1年	★お買い上げ日 年 月 日から	
★ご販売店	住所・店名 電話		

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社 家電事業統括部
〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理･改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （ト）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝家電修理ご相談センターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年 月 日		
年 月 日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒 959-1393 新潟県加茂市大字後須田 2570-1

THT-CECB(TD)